

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	低濃度笑気麻酔が白内障手術患者に与える影響に関する検討
当院の研究責任者(所属)	笹島 裕史 (真生会富山病院アイセンター)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	現在、白内障の手術は局所麻酔(痛みを軽減する麻酔を用いて意識がある状態)で行うことが一般的です。低濃度笑気麻酔は、不安を和らげる(鎮静)作用と痛みを軽減する(鎮痛)作用をあわせもつ吸入麻酔薬として、歯科、産婦人科、小児科や救急医療の現場で広く使用されています。一方で、眼科では現在までにあまり使われてきませんでした。本研究の目的は、これまでに安全性が確認されている低濃度(30%)の笑気麻酔を使用することで白内障手術を受けられた患者さんの不安が軽減するかを明らかにすることです。
調査データの該当期間	令和3年10月1日～令和3年12月31日
研究の方法(対象となる方)	① 年齢: 20歳以上 ② 性別: 不問 ③ 病態: 白内障による視力低下を認めたもの ④ 治療: 30%の低濃度笑気麻酔を使用し白内障手術を受けられたものと笑気麻酔を使用しないで白内障手術を受けられたもの
研究の方法(使用する情報)	・患者背景: 年齢、性別、手術したほうの眼(左右)を統計計算に使用します。 ・検査結果: 手術前に検査のあった眼軸長(目の長さ)、白内障の程度のデータを統計計算に使用します。 ・アンケートの結果(手術前後の不安、手術中の痛み、手術中の嘔気、手術中の記憶)を統計計算に使用します。 ・周術期(手術の前後と手術中)のバイタルサイン(収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍数、酸素飽和度)のデータを統計計算に使用します。
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話: 0766-52-6979 担当者: 笹島 裕史 (医師)
備考	